

第2次伊那市総合計画後期基本計画(原案)に対する意見整理表(協議後)

資料No.1-1-1

令和5年10月27日 第7回審議会

【第4章】

整理番号	修正前の頁	箇所	意見の概要	修正前	修正後	担当部局または事務局の考え方	担当部局
1		4-2-1 就労・雇用 【後期基本計画における施策と展開方針】 4-4-1 移住・定住・交流 【施策分野における現状と課題】	産学官民連携は、企業、大学・研究機関、行政、市民の4者が連携するということであり、学の部分には、大学や教育機関があたるということだが、この定義を少し広げて、高校等は入るのかを教えてください。			この総合計画における産学官民連携の「学」の定義につきましては、専門的な知見の提供等を受けることを想定しており、原則としては、大学等の高等教育機関及び研究機関とします。また、中学校・高等学校につきましては、行政の管轄として「官」の中に入ると認識です。	事務局
2			住宅政策に関連して、定住者の支援、転入者の増加というところで、政策的なものが今は少し弱いのではないかと思います。具体的な要因になるようなものはあるけれども、こういう魅力があるから伊那市に住みたいというような部分が方向性として見えてこないのかなと思う。そこら辺をもう少し検討いただければと思う。	○戦略的な住宅の立地誘導事業などを展開し、定住者の支援と転入者の増加を図ります。	○地域の特性を活かした計画的な住宅の立地誘導事業などを展開し、定住者の支援と転入者の増加を図ります。	○戦略的という表現をより分かりやすい表現に変更する。	
3	P91	4-4-1 移住・定住・交流 【後期基本計画における施策と展開方針】 1 移住・定住の促進	教育のところが高遠高校や市内の民間の高校に支援をしたとなっており、市外から伊那市へ子供が通ってきたり、伊那市の子が他の市町村にある高校へ通ったりしていると思うが、伊那市民の子に限って支援しますと言っているわけではないし、他地域から伊那市へ来た子供が伊那市の予算で整備した伊那市のインフラをフリーライドしているということはないわけではない。であるので、それと同じことが移住施策にも言えるのではないかと思います。もちろん、それほど単純な話しではなくて、移住施策になってくると、住民税等の税金とか、交付金とかの話になってくるので、現実的にはシビアな話しになるのだろうけれども、総合計画の文章の上では、なるべくおおらかな表現としてはいかがか。例えば、伊那谷地域の中核都市として選ばれるような都市を目指しますというような表現。戦略的という言葉に対して違和感を持たれた委員がどなたかはわからないが、おそらく戦略的という言葉がここに出てくるのが何か独善的というか、戦いに関する言葉であるので何に対して戦っているのかということに違和感を持たれたのではないかと思います。しかし、移住というものは戦うことではないので、もう少し幸せを感じられるような語句の表現の方が、こういう場においてはいいのではないかと。ただし、企画部長のおっしゃるようにマスタープラン等との整合性をつけるためにどうしてもこの言葉が必要だということであれば、そのままでもいいとは思いますが、もし、この言葉を変えて困ることがないのであれば、もう少し平和で友好的な言葉が使われた方がいいのではないかと。				企画部